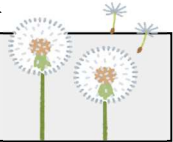


# ふくおかの経済

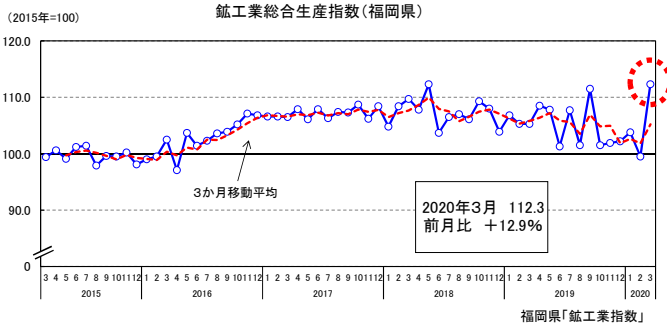
令和2年5月号



## 生産

一部に振れがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

3月の生産指数は、電子部品・デバイス工業などの上昇により2か月ぶりに前月を上回っています。

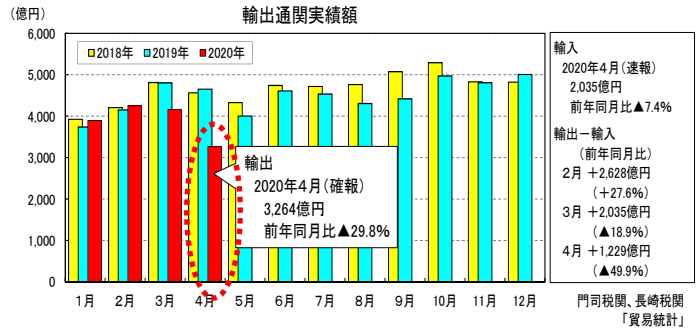


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

## 貿易

輸出、輸入ともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている。

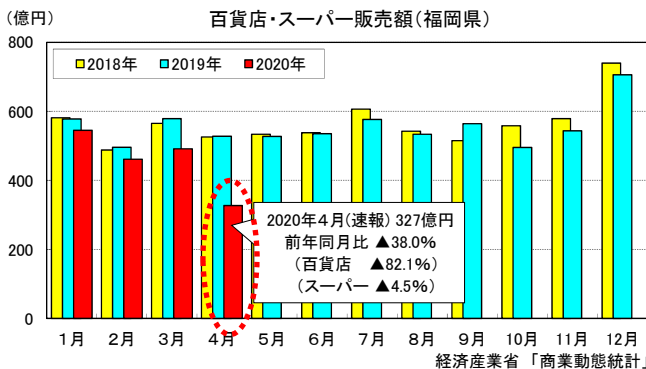
4月の輸出は、自動車などの減少により2か月連続で前年を下回っており、弱い動きが続いています。



## 消費

新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

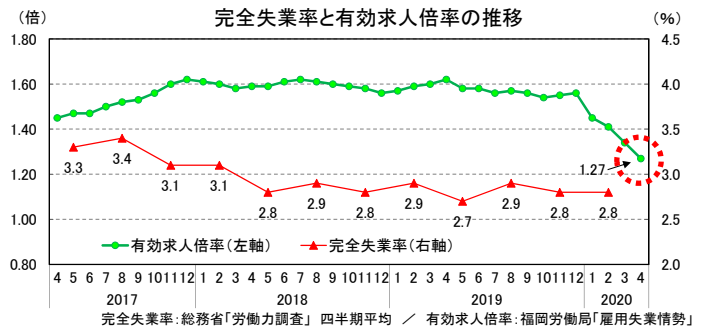
4月の百貨店・スーパー販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、7か月連続で前年を下回りました。



## 雇用

求人が求職を上回って推移しているものの、求人が大幅に減少している。

4月の有効求人倍率は1.27倍で、前月を0.07ポイント下回りました。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

## 今月のピックアップ 集積する大学と人口移動

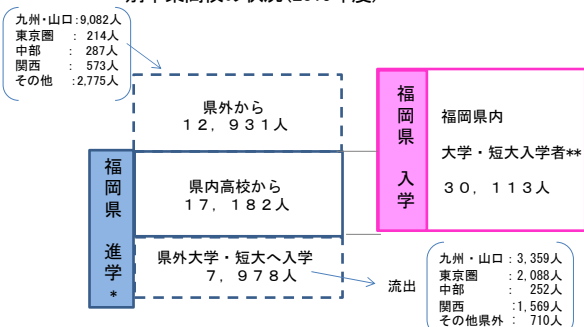
○2019年度の福岡県内の大学・短大入学者約3万人のうち、県内高校からの入学者は1万7千人余と全体の約6割となっており、残りの約4割(約1万3千人)は県外からの入学者となっています(図表1)。

○また、県内高校から、県外大学・短大への入学者は約8千人となっています(図表1)。

○したがって、大学・短大入学時における県内外とのやり取りでは、5千人程度の純流入が生じていると考えられ、福岡市を中心とする本県内の大学の立地集積が我が県の若年人口の増加に寄与していると考えられます(図表1、2)。

○2019年度の純流入数を5年前と比べると、県内大学・短大への入学者が増加し、県外大学・短大への入学者が減少した結果、845人の増加となりました(図表2)。

図表1 福岡県内の大学・短大の入学者の県内外別卒業高校の状況(2019年度)



(\*前年2018年5月1日時点の県内の高校3年生(全日制)は41,507人 \*\*5月1日時点の在籍者)

図表2 大学・短大進学時の人口収支推移(人)

|        | 県外から県内へ進学 | 県内から県外へ進学 | 人口収支(純流入数) | 県内から県内へ進学 |
|--------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 2014年度 | 12,517    | 8,409     | 4,108      | 16,916    |
| 2015年度 | 12,593    | 8,496     | 4,097      | 17,110    |
| 2016年度 | 12,444    | 8,280     | 4,164      | 17,185    |
| 2017年度 | 12,666    | 8,188     | 4,478      | 17,438    |
| 2018年度 | 12,821    | 8,104     | 4,717      | 16,793    |
| 2019年度 | 12,931    | 7,978     | 4,953      | 17,182    |

5年間で845人が増加

出所:文部科学省「学校基本調査」